



2013年4月9日

各 位

会 社 名 マックスバリュ中部株式会社
 代表者名 代表取締役社長 正木 雄三
 (コード番号：8171 名証第2部)
 問合せ先 取締役総合企画担当 小 泉 覚
 (TEL：0598-51-3128)

2013年2月期決算における業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

2013年3月19日に公表いたしました2013年2月期(2012年2月1日～2013年2月28日)の業績予想値と、本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 業績予想値と実績値との差異

(金額の単位：百万円)

2013年2月期通期連結業績予想値と実績値との差異(2012年2月1日～2013年2月28日)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	134,900	1,670	1,790	25	0円98銭
今回実績値(B)	134,923	1,573	1,682	41	1円62銭
増減額(B-A)	23	△96	△107	16	—
増減率(%)	0.0	△5.8	△6.0	64.9	—
(ご参考)前期通期実績 (2012年1月期)	122,338	1,823	1,910	△115	△4円52銭

2013年2月期通期個別業績予想値と実績値との差異(2012年2月1日～2013年2月28日)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	134,500	1,720	1,830	100	3円93銭
今回実績値(B)	134,579	1,618	1,721	113	4円48銭
増減額(B-A)	79	△101	△108	13	—
増減率(%)	0.1	△5.9	△5.9	14.0	—
(ご参考)前期通期実績 (2012年1月期)	122,319	1,920	2,003	△29	△1円16銭

2. 差異の理由

公表時より売上原価が増加した結果、荒利益高が低下し、連結及び単体ともに営業利益・経常利益が予想値を下回りました。また、遊休資産の売却に伴う過年度土地減損損失の税効果適用により法人税等調整額を計上したため、連結及び単体の当期純利益が予想値を上回りました。

以上